

2016年9月16日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2016年8月実績、9月見通し)

[概況] 小企業の売上 DI は、マイナス幅が拡大
～9月にはマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2016年8月の売上 DI は、7月(▲18.4)からマイナス幅が0.9ポイント拡大し、▲19.3となった。9月は、▲13.8とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲16.6→▲7.6)ではマイナス幅が縮小した一方、非製造業(▲19.0→▲20.8)ではマイナス幅が拡大している。

2 採算

2016年8月の採算 DI は、7月(▲0.4)からマイナス幅が1.6ポイント拡大し、▲2.0となった。9月は、4.8と上昇する見通しとなっている。

3 雇用

従業員過不足 DI は 17.1 となった。業種別にみると、飲食店が 28.6 と最も高く、次いで運輸業(27.2)、建設業(26.7)の順となっている。

従業員が不足していると回答した企業に、現在の対応を尋ねたところ、「仕事の一部外注」が 25.6%と最も多く、次に「増員(パート・アルバイト含む)」が 23.7%となっている。

<調査の要領> 調査時点 2016年9月1日～5日
調査対象 当公庫取引先 1,500企業
有効回答企業数 1,221企業
回答率 81.4%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:鈴木、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製造業（従業者 20 人未満）

卸売業（同 10 人未満）

小売業（同 10 人未満）

飲食店（同 10 人未満）

サービス業（同 20 人未満）

建設業（同 20 人未満）

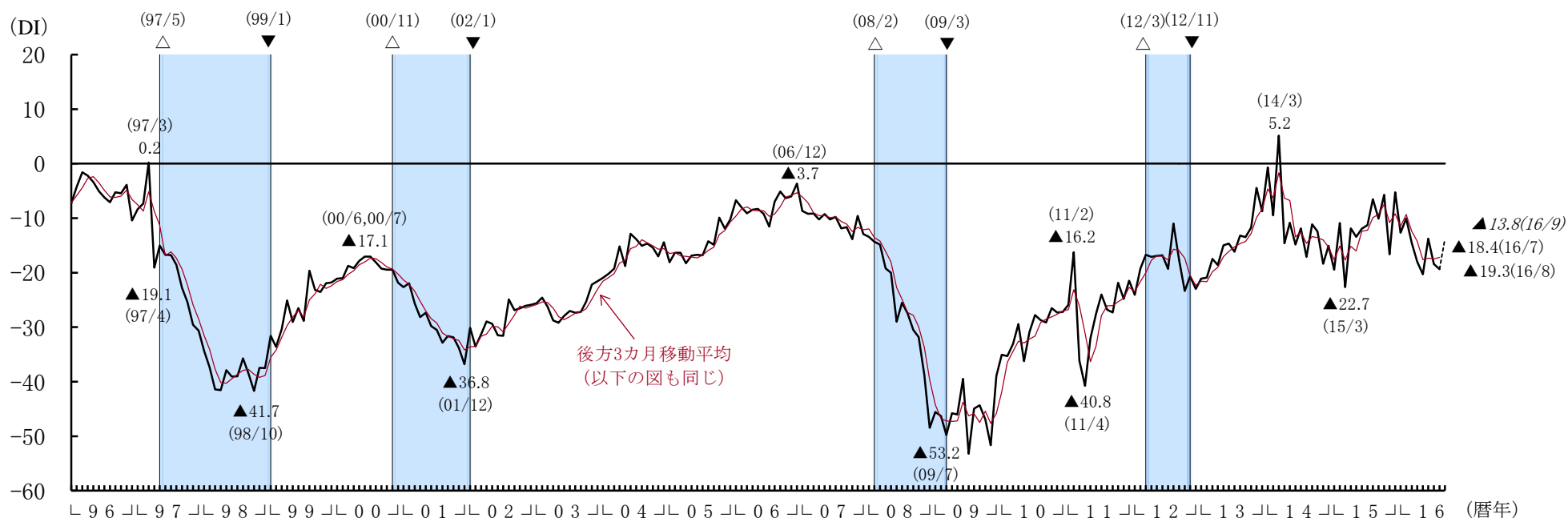
運輸業（同 20 人未満）

1 売上

- 8月の売上DIは、7月からマイナス幅が0.9ポイント拡大し、▲19.3となった。9月は、▲13.8とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲16.6→▲7.6)ではマイナス幅が縮小した一方、非製造業(▲19.0→▲20.8)ではマイナス幅が拡大した。9月は、製造業では▲18.8とマイナス幅が拡大する一方、非製造業では▲13.3とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、小売業や飲食店、サービス業でマイナス幅が拡大している。9月は、運輸業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

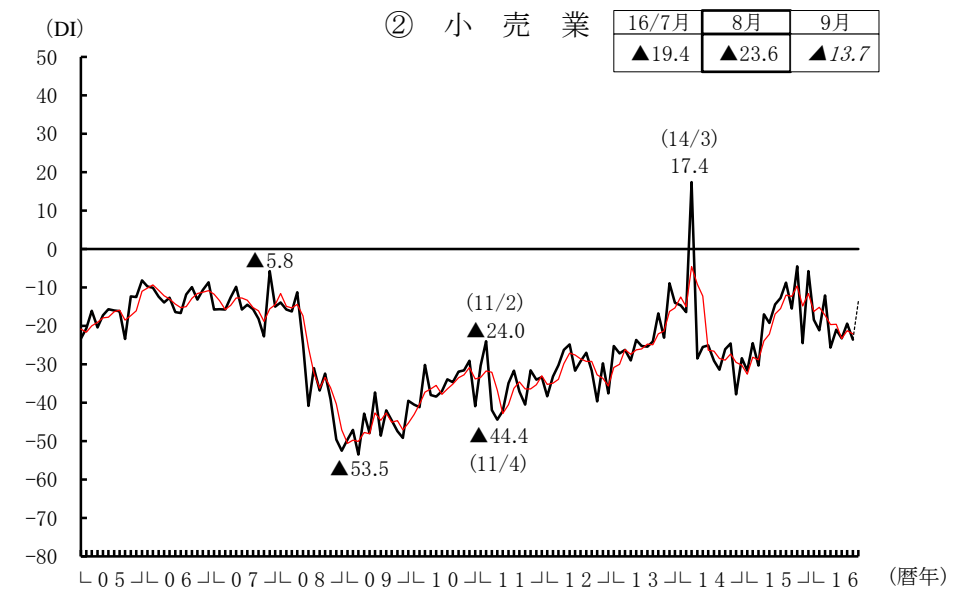
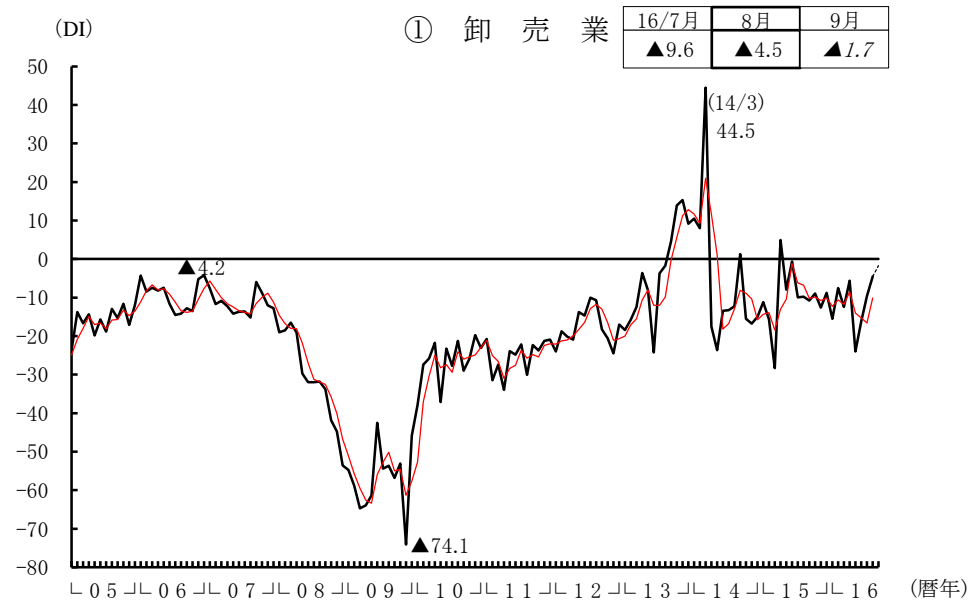
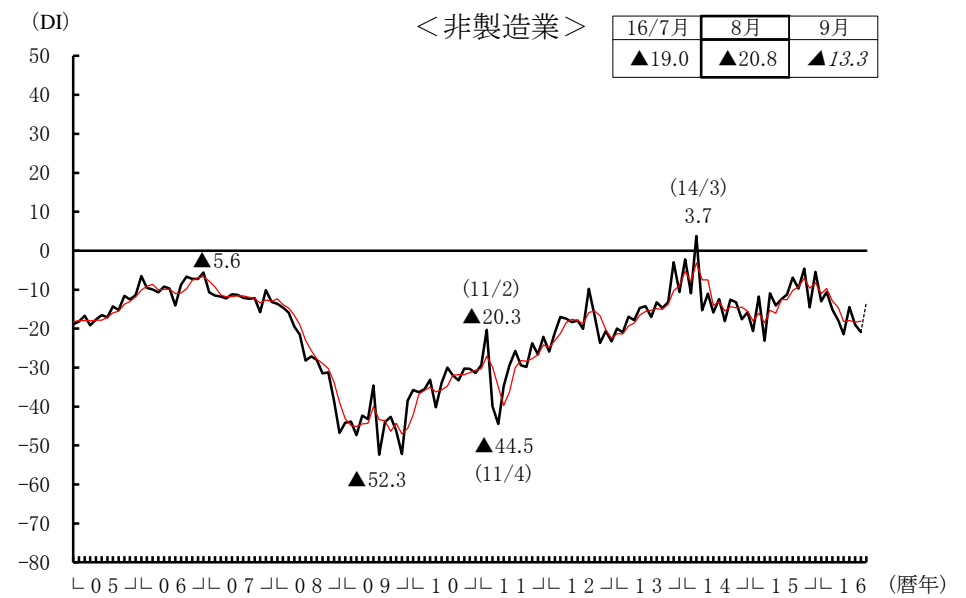
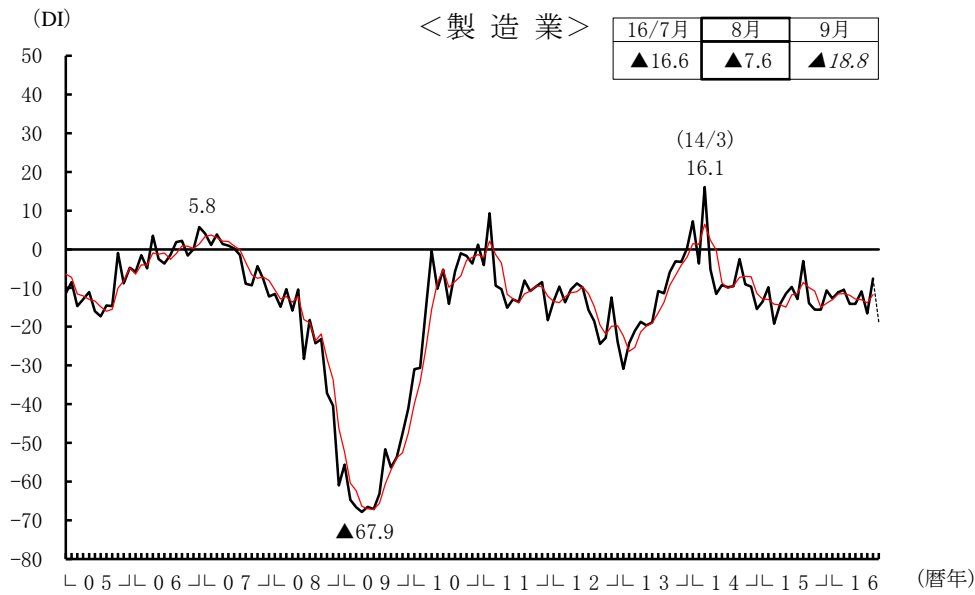
	2015/8月	9月	10月	11月	12月	2016/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	▲ 6.5	▲ 10.1	▲ 5.7	▲ 16.6	▲ 5.3	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 14.6	▲ 18.0	▲ 20.3	▲ 13.8	▲ 18.4	▲ 19.3	-
見通し	▲ 9.5	▲ 8.8	▲ 6.1	▲ 6.5	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 8.1	▲ 3.5	▲ 6.4	▲ 15.8	▲ 12.6	▲ 13.6	▲ 13.3	▲ 13.8



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ——— は実績、 - - - - - は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



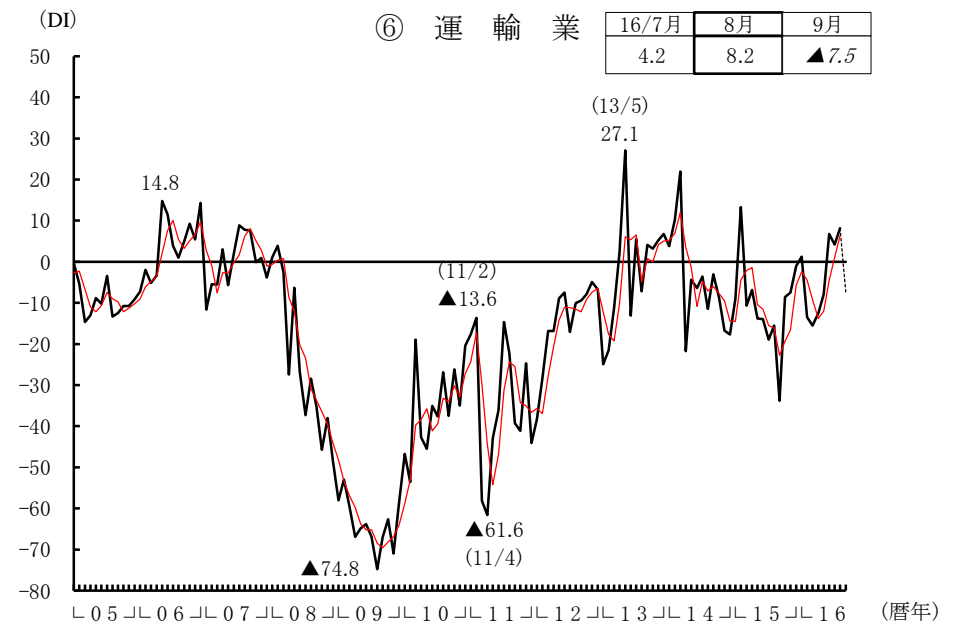
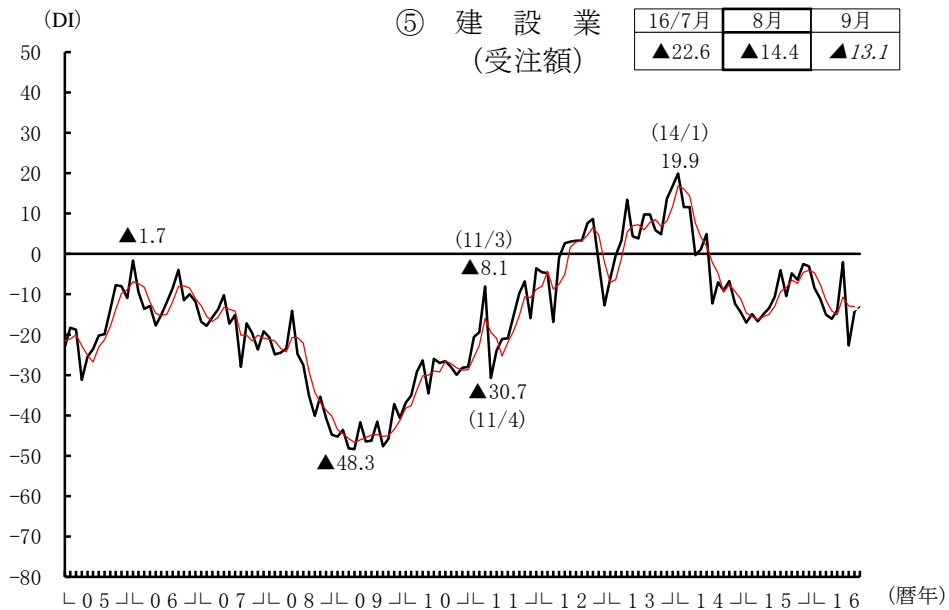
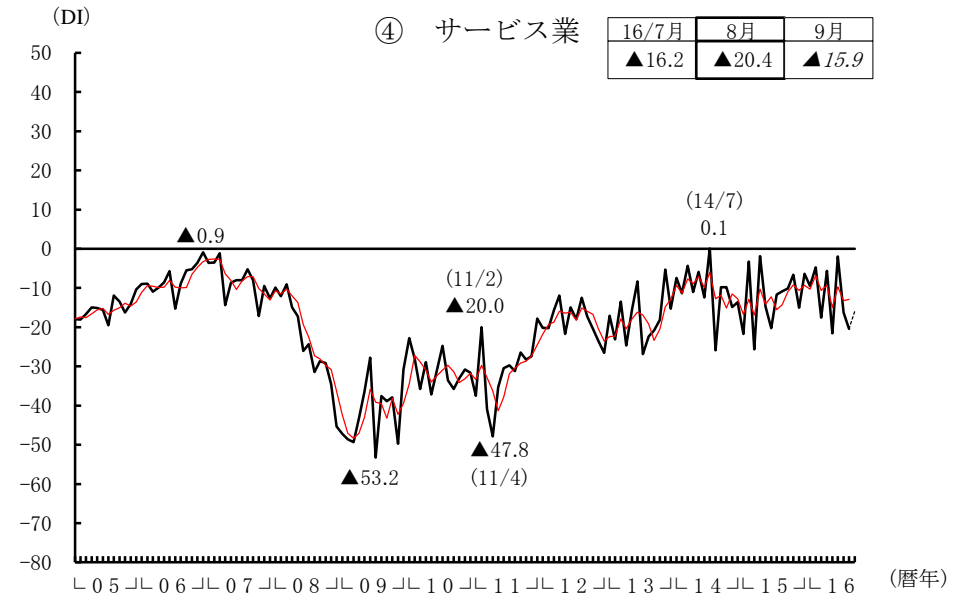
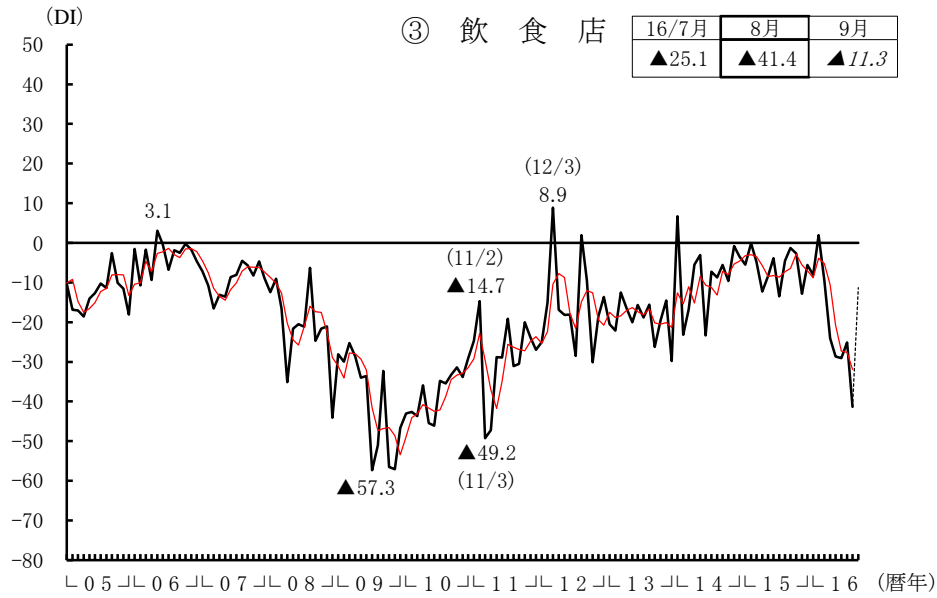


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

（見通し）

	2015年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
製造業	▲19.2	▲14.1	▲11.4	▲9.7	▲12.8	▲3.0	▲13.9	▲15.5	▲15.6	▲10.6	▲12.7	▲11.1	▲10.5	▲14.1	▲14.1	▲10.9	▲16.6	▲7.6	▲18.8	製造業
金属・機械	▲16.1	▲10.4	▲15.3	▲16.0	▲16.5	▲8.5	▲18.3	▲18.9	▲17.2	▲9.2	▲11.0	▲15.0	▲10.9	▲16.3	▲13.8	▲4.3	▲19.7	▲2.1	▲10.4	金属・機械
その他製造	▲20.0	▲13.5	▲7.8	▲2.9	▲8.1	▲4.8	▲10.9	▲11.9	▲19.3	▲10.9	▲13.8	▲6.6	▲8.0	▲8.3	▲13.7	▲15.2	▲12.4	▲19.2	▲23.7	その他製造
非製造業	▲23.1	▲10.9	▲14.1	▲12.4	▲11.2	▲6.9	▲9.7	▲4.6	▲14.5	▲5.4	▲13.0	▲10.6	▲15.1	▲17.8	▲21.5	▲14.4	▲19.0	▲20.8	▲13.3	非製造業
①卸売業	▲28.3	5.0	▲8.0	▲0.6	▲10.0	▲9.8	▲10.8	▲8.9	▲12.6	▲8.8	▲15.5	▲7.5	▲12.4	▲5.7	▲24.0	▲16.2	▲9.6	▲4.5	▲1.7	①卸売業
織・衣・食	▲35.5	▲1.9	▲4.9	2.2	▲6.5	▲14.5	▲8.4	▲0.7	▲8.8	▲9.8	▲18.7	▲17.1	▲21.2	▲13.9	▲27.6	▲32.3	▲24.4	▲15.1	▲5.9	織・衣・食
機械・建材	▲20.0	▲2.2	▲6.3	0.9	▲12.5	▲6.8	▲14.1	▲14.9	▲19.0	▲3.3	▲11.7	▲0.6	▲1.3	▲11.7	▲17.7	▲1.0	0.9	2.7	▲0.0	機械・建材
②小売業	▲30.4	▲17.0	▲19.3	▲14.5	▲12.8	▲8.8	▲15.5	▲4.6	▲24.5	▲5.8	▲18.5	▲21.2	▲12.1	▲25.7	▲21.1	▲23.3	▲19.4	▲23.6	▲13.7	②小売業
耐久消費財	▲38.6	▲28.2	▲19.1	▲23.3	▲2.5	▲1.4	▲8.6	▲2.2	▲15.8	▲2.0	▲6.4	▲22.8	▲9.6	▲30.2	▲18.8	▲19.2	▲15.6	▲16.9	▲13.4	耐久消費財
非耐久消費財	▲29.0	▲13.7	▲20.6	▲12.6	▲14.1	▲9.8	▲16.6	▲4.9	▲25.5	▲7.4	▲21.8	▲20.6	▲13.0	▲23.5	▲22.8	▲23.9	▲19.8	▲24.4	▲13.5	非耐久消費財
③飲食店	▲4.8	▲12.3	▲8.4	▲3.9	▲13.5	▲4.5	▲1.3	▲2.6	▲12.9	▲5.5	▲8.0	2.0	▲9.6	▲24.1	▲28.7	▲29.1	▲25.1	▲41.4	▲11.3	③飲食店
④サービス業	▲25.7	▲1.9	▲14.7	▲20.2	▲11.7	▲10.9	▲10.1	▲6.6	▲15.1	▲6.4	▲9.5	▲4.8	▲17.6	▲5.6	▲21.6	▲2.0	▲16.2	▲20.4	▲15.9	④サービス業
事業所向け	▲20.0	▲16.6	▲13.3	▲8.1	▲13.2	▲5.0	▲17.0	▲19.7	▲18.0	▲9.2	▲7.2	10.0	▲16.5	▲13.3	▲9.4	▲10.2	▲8.8	▲9.4	▲20.9	事業所向け
個人向け	▲29.1	2.8	▲15.6	▲22.9	▲11.7	▲11.7	▲8.2	▲2.0	▲16.0	▲5.8	▲10.4	▲7.1	▲19.7	▲3.3	▲25.6	1.7	▲18.9	▲22.7	▲14.1	個人向け
⑤建設業	▲16.7	▲14.9	▲13.4	▲10.6	▲4.0	▲10.5	▲4.8	▲6.4	▲2.5	▲3.1	▲8.4	▲11.1	▲15.0	▲16.1	▲14.0	▲2.0	▲22.6	▲14.4	▲13.1	⑤建設業
⑥運輸業	▲10.7	▲6.9	▲13.8	▲13.9	▲18.9	▲15.5	▲33.8	▲8.6	▲7.5	▲1.0	1.2	▲13.5	▲15.5	▲12.5	▲7.9	6.8	4.2	8.2	▲7.5	⑥運輸業
道路貨物	▲11.0	▲9.9	▲17.1	▲20.5	▲20.4	▲23.9	▲40.7	▲10.8	▲9.2	▲1.9	1.9	▲19.4	▲15.1	▲8.4	▲0.7	12.0	12.1	11.0	▲4.9	道路貨物
個人タクシー	0.1	13.0	2.3	2.7	▲6.3	26.0	▲0.4	2.8	▲6.0	5.1	▲0.8	▲22.9	▲5.3	▲23.1	▲32.2	▲23.8	▲21.2	7.2	▲14.2	個人タクシー
全業種計	▲22.7	▲11.9	▲13.4	▲11.9	▲11.3	▲6.5	▲10.1	▲5.7	▲16.6	▲5.3	▲12.7	▲10.1	▲14.6	▲18.0	▲20.3	▲13.8	▲18.4	▲19.3	▲13.8	全業種計

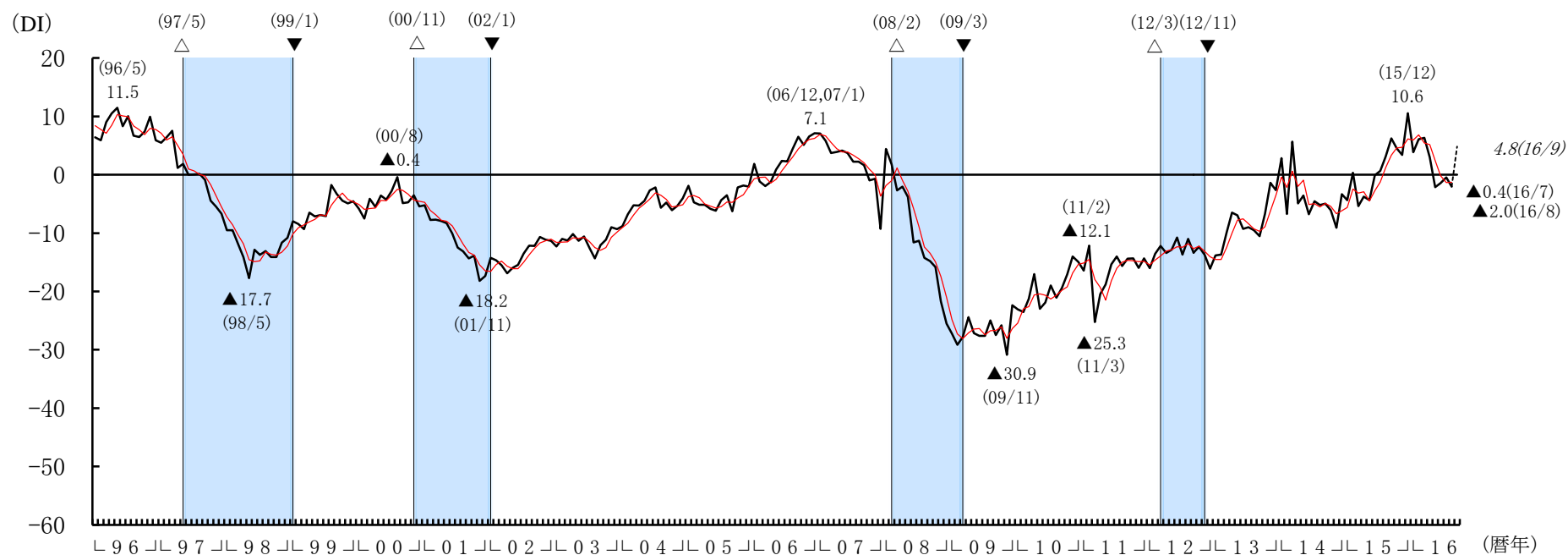
(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 8月の採算DIは、7月からマイナス幅が1.6ポイント拡大し、▲2.0となった。
- 9月の採算DIは、4.8と上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2015/8月	9月	10月	11月	12月	2016/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	3.1	6.2	4.5	3.4	10.6	3.9	6.1	6.3	3.0	▲2.1	▲1.4	▲0.4	▲2.0	-
見通し	▲1.2	6.3	8.0	2.4	9.3	12.0	3.5	13.9	9.0	4.1	1.9	3.6	3.1	4.8



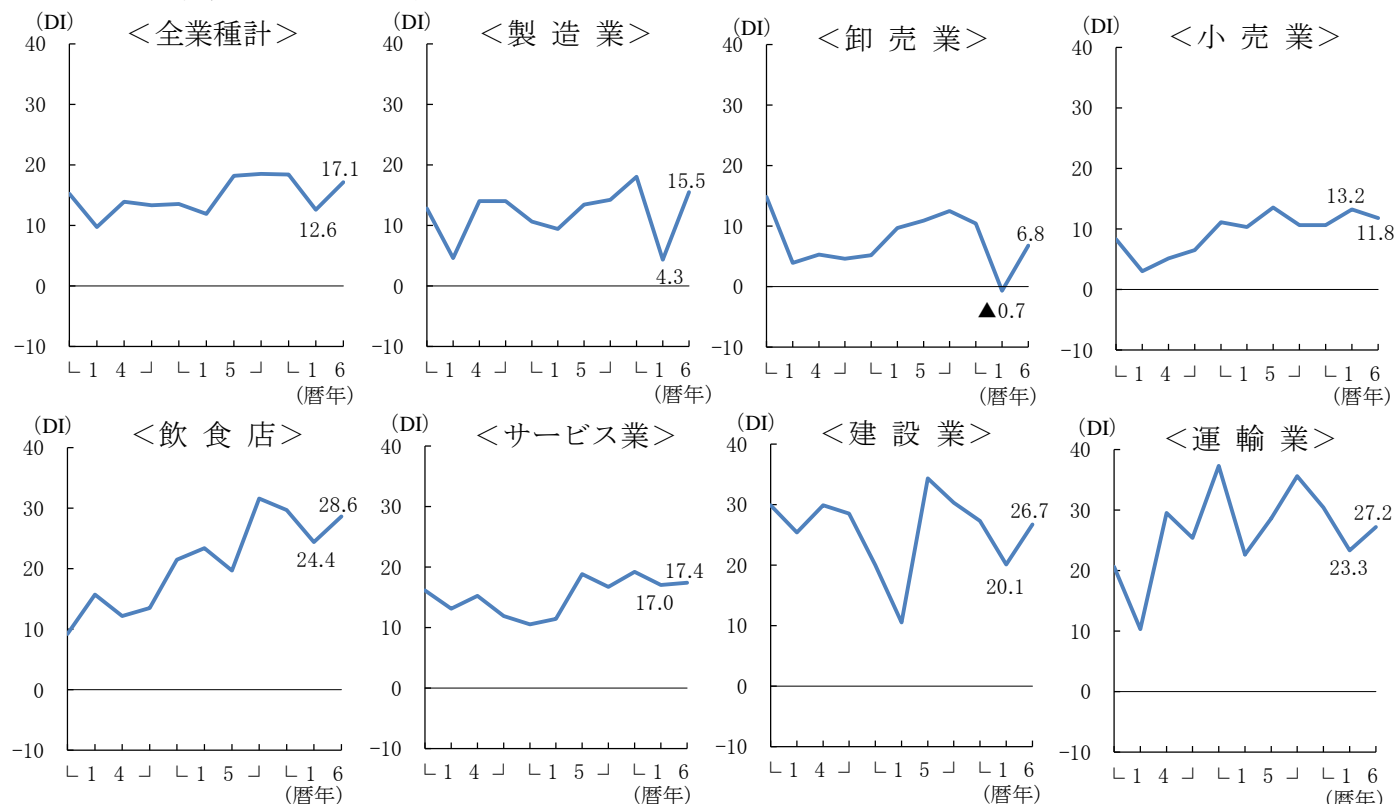
(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 雇 用

- 従業員過不足DIは、17.1となった。業種別にみると、飲食店が28.6と最も高く、次いで運輸業（27.2）、建設業（26.7）の順となっている。
- 従業員が「不足」していると回答した企業に、現在の対応を尋ねたところ、「仕事の一部外注」が25.6%と最も多く、次に「増員（パート・アルバイトを含む）」が23.7%となっている。

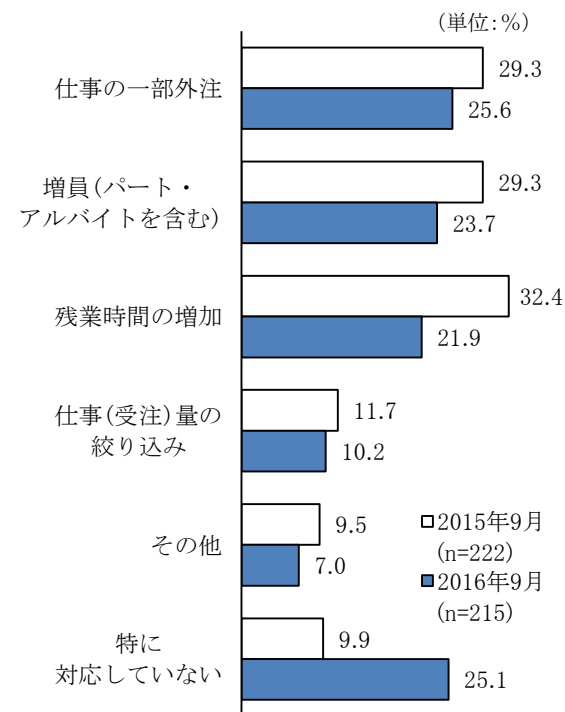
図－4 従業員の過不足状況とその対応

(1) 従業員過不足DIの推移



- (注) 1 このところ(3カ月程度)の仕事量からみた従業員数の過不足を尋ねたもの。
 2 従業員過不足DIは、「不足」企業割合－「過剰」企業割合。
 3 調査期は、各年の3、6、9、12月。

(2) 従業員が不足している場合の対応
(複数回答、1年前との比較)



- (注) (1)で従業員が「不足」と回答した企業に尋ねたもの。